

取組課題 1 医療機能の充実・強化

取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

① 救命救急医療の充実

〔計画記載ページ P.25〕

高齢者の増加に伴い増大する救急需要に対応するため、救命救急医療（三次救急医療）を担う救命救急センターとして「断らない救急」を目指し、救急搬送患者をより効率的に受け入れられる体制の整備を進めます。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①救命救急センターの安定的な運営及び体制強化に向けた救急医及び救急救命士の安定的な確保
- ②川崎市メディカルコントロール協議会等、市内関係会議への参加及び協力
- ③救命救急センター厚生労働省評価基準S級の維持

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
三次救急搬送患者応需率	目標値			97.6%	97.7%	97.9%	98.1%	98.2%以上
	実績値	97.4%	99.0%	97.9%	99.4%	98.6%	97.4%	95.5%
	評価			3	3	3	3	3
救急自動車搬送受入台数	目標値			7,332件	7,332件	7,332件	7,332件	7,332件
	実績値	7,332件	7,075件	6,686件	6,451件	5,916件	5,819件	5,802件
	評価			4	5	5	5	5

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・三次救急搬送患者応需率は、コロナ受入体制確保のために救命救急センター病棟の一部又は全部をコロナ専用病床としたことなどにより、目標を達成できませんでした。 ・救急自動車搬送受入台数は、同様の理由により目標を達成できませんでした。新型コロナウイルス感染症の影響などにより市内全体の救急搬送件数が減少する中で、前年度と同程度の受入台数を達成することができました。 ・地域の医療機関に向けて緊急の消化器疾患に対応するため「腹急ホットライン」を開設しました。また、昨年開設した「コロナリーホットライン」については、救急隊からの受入に続き、地域の医療機関からの受入を開始しました。 ・救急医、救急救命士の確保のため、救命救急センターのホームページで医師の募集を行い、救急医は1人、救急救命士は2人採用しました。 ・川崎市メディカルコントロール協議会等、市内関係会議への参加及び協力について、救命救急センター所長は川崎市メディカルコントロール協議会の実質的企画を検討する役割を市長より付与された部会長であり、救急救命士の業務に関する多くの課題に取り組みました。 ・厚生労働省救命救急センター充実度段階評価について、救急薬剤師の配置などに取り組んだ結果、本制度発足から3年連続S級の救命救急センターとして評価されました。 ・救命救急センターの医師が令和2年度と比較して減少しており、医師を安定的に確保できる運用方法を検討していきます。 	C ほぼ目標ど おり

取組進捗状況管理シート

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016―2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●救命救急センター (救急科)医師の 安定的な確保	目標値			18名	18名	18名	18名	18名
	実績値	17名	16名	18名	19名	19名	16名	18名
●救急医をサポート する救急救命士 (非常勤)の確保	目標値		※定数は2名	2名	2名	2名	2名	2名
	実績値	1名	1名	1名	1名	1名	0名	0名
●夜間・休日におけ る緊急MRI撮影 実施体制の整備	目標値		※H27.12から実施	整備・実施	実施	実施	実施	実施
	実績値		整備・実施	実施	実施	実施	実施	実施
救命救急センター 医師事務補助者の 継続配置	目標値			1名	1名	1名	1名	1名
	実績値		1名	2名	2名	2名	2名	2名
救急隊との症例検 討会の開催	目標値			4回	4回	4回	4回	4回
	実績値	4回	4回	4回	4回	1回	2回	0回
川崎市救急隊会議 への参加	目標値			延べ8名	延べ8名	延べ8名	延べ8名	延べ8名
	実績値	延べ4名	延べ4名	延べ8名	延べ8名	延べ7名	延べ8名	参加なし
川崎市救急隊講演 会への参加	目標値			延べ4名	延べ4名	延べ4名	延べ4名	延べ4名
	実績値	延べ4名	延べ4名	延べ4名	延べ4名	延べ4名	延べ4名	参加なし
川崎市メディカル コントロール協議 会への参加	目標値			参加	参加	参加	参加	参加
	実績値	参加	参加	参加	参加	参加	参加	参加
川崎脳卒中ネット ワークへの参加	目標値			参加	参加	参加	参加	参加
	実績値	参加	参加	参加	参加	参加	参加	参加
二次救急の 応需件数	目標値			4,500件	4,500件	4,500件	4,500件	4,500件
	実績値	4,702件	4,533件	4,235件	4,094件	3,789件	3,758件	3,713件
三次救急搬送患者 応需率（川崎市 内）	目標値			99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%
	実績値	99.0%	99.7%	99.1%	99.5%	99.0%	99.2%	95.7%

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

② 災害医療機能の維持

〔計画記載ページ P.25〕

災害拠点病院として、災害派遣医療チーム(DMAT)等を保有し、市内外の様々な災害又は事故現場等に医療チーム又は医師を派遣します。また、災害発生時の孤立化(物資供給や電力の途絶など)に備え、必要な食料、飲料水、医薬品の備蓄や、エネルギーセキュリティの向上に取り組みます。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①派遣要請対応
- ②各種訓練実施・参加
- ③DMAT隊員の養成
- ④患者に合わせた備蓄食料の拡充
- ⑤災害時対応機能の拡充

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
災害派遣医療チーム等の派遣要請応需率	目標値			90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%以上
	実績値	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	※応需件数/ 要請件数		1/1	2/2	2/2	1/1	2/2	2/2
	評価			1	1	1	1	1
食料・飲料水・医薬品の院内備蓄確保量	目標値			3日間分	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分
	実績値	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分	3日間分
	評価			3	3	3	3	3

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・災害派遣医療チーム等の派遣要請応需率については、神奈川県及び川崎市の要請により県及び市の新型コロナウイルス感染症対策本部へ職員を派遣し、クラスターが発生した病院の患者搬送の調整等、本部業務を支援しました。 ・DMAT隊員養成研修は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で中止となりました。 ・新型コロナウイルス感染症対策として今年度はエマルゴ方式にて院内訓練を実施しました。今後も各種訓練（政府訓練、市総合防災訓練など）に参加するなど、隊員の技能維持・向上を努めるとともに新たな隊員養成を行います。 ・備蓄用飲料水及び食品は消費期限に応じて入れ換えを行うとともに、患者さんの状態に応じた摂取しやすい食材への変更も進めています。 ・今後も継続して隊員の技能維持、養成、備蓄の強化に努めていきます。 	B 目標を上 回って達成

取組進捗状況管理シート

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●災害派遣医療チーム等の隊員の維持・確保【日本DMAT】	目標値	在籍隊員数(研修修了者)		10名	10名	10名	10名	10名
	実績値	8名	7名	10名	10名	9名	8名	7名
●災害派遣医療チーム等の隊員の維持・確保【市DMAT】	目標値	在籍隊員数(研修修了者)		30名	30名	30名	30名	30名
	実績値	27名	34名	37名	43名	46名	46名	42名
●備蓄品(食料、飲料水、医薬品)の適切な補充・交換	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
●災害時における情報伝達手段の確保(かわさきWi-Fiの整備)	目標値			整備	実施	実施	実施	実施
	実績値		整備	実施	実施	実施	実施	実施
●電気設備の浸水対策及び埋設給水管の耐震化	目標値			整備	実施	実施	実施	実施
	実績値		整備	整備	エネルギー棟設計仕様検討	事業者公募条件等の検討・整理	エネルギー事業者の決定	エネルギー棟建築工事着手
非常用発電機オイルポンプ室増築工事	目標値			実施	完了			
	実績値		実施	実施	完了			
給水設備改修工事(埋設給水管耐震工事)	目標値			実施	実施	実施	完了	
	実績値			実施	実施	実施	完了	
【参考】日本DMAT派遣要請数・派遣数	要請数	0件	1件	1件	0件	1件	0件	2件
	派遣数	0件	1件	1件	0件	1件	0件	2件
【参考】神奈川DMAT派遣要請数・派遣数	要請数	0件	1件	1件	0件	0件	1件	2件
	派遣数	0件	1件	1件	0件	0件	1件	2件
【参考】川崎ワンピース派遣要請数・派遣数	要請数	1件	1件	0件	2件	1件	2件	0件
	派遣数	1件	1件	0件	2件	1件	2件	0件
政府主催総合防災訓練(搬送訓練)への参加	目標値			参加	参加	参加	参加	参加
	実績値	参加	参加	参加	参加	参加	参加	不参加
院内災害医療対応訓練の実施	目標値			1回	1回	1回	1回	1回
	実績値	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1件
院内災害対策本部機能訓練の実施	目標値			2回	2回	2回	2回	2回
	実績値	2回	2回	1回	2回	1回	1回	1件
部署別災害訓練の実施	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
衛星電話通信訓練(井田病院合同)	目標値			12回	12回	12回	12回	12回
	実績値	12回	12回	11回	5回	12回	6回	0回

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充

○ がん診療機能の強化

[計画 記載ページ P.26]

がん患者がその居住する地域において、病状に応じた適切な医療が受けられるよう、がん診療機能の強化・拡充を進め、「神奈川県がん診療連携指定病院」の指定を目指します。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①神奈川県がん診療連携指定病院の継続
- ②がん診療の充実・強化及び関係医療機関との連携・推進
- ③PET-CTの運用

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
がん登録数	目標値			1,230件	1,260件	1,290件	1,320件	1,350件以上
	実績値	—	1,205件 (平成26年分)	1,306件 (平成27年分)	1,293件 (平成28年分)	1,519件 (平成29年分)	1,650件 (平成30年分)	1,710件 (令和元年分)
	評価			2	3	1	1	1
神奈川県がん診療連携指定病院の指定	目標値			準備	指定	維持	維持	29年度指定
	実績値	—	準備	指定取得	維持	維持	維持	維持
	評価			2	2	3	3	3
がん手術件数	目標値			1,080件	1,100件	1,120件	1,140件	1,160件以上
	実績値	1,061件	1,018件	952件	1,052件	1,059件	1,041件	1,091件
	評価			5	3	4	4	4



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・地域がん診療連携パスの連携先を増やし、地域と連携したがん診療体制を充実させました。また、総合がん診療連携指定病院の指定を目指しました。 ・がん診療に関する連携の推進、PET-CTの運用促進のため、広報資料を作成するとともに、医療機関訪問を積極的に行いました。今後も、これらの活動を継続し、がん診療の機能強化に努めていきます。 ・がん手術件数については、新型コロナウイルス感染症の影響で予定手術の抑制をしていますが、昨年度を上回る件数を実施できました。 	<p>B 目標を上 回って達成</p>

取組進捗状況管理シート

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●高度な検査・治療機器の効果的な活用と計画的な更新	目標値			—	—	—	MRI②更新	CT②更新
	実績値		検討	—	—	—	更新	更新
●がん先進治療機器・検査機器の導入 (内視鏡手術用支援機器)	目標値			導入	維持	維持	維持	維持
	実績値		準備	導入	維持	維持	維持	維持
●がん先進治療機器・検査機器の導入 (PET-CT)	目標値			準備	導入	維持	維持	維持
	実績値			準備	導入	維持	維持	維持
PET-CT 運用件数	目標値					600件	1,000件	1,100件
	実績値					590件	814件	832件

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

① 小児・周産期医療の確保

[計画記載ページ P.26]

地域周産期母子医療センターとして、出産前後の母体・胎児や新生児に対する高度で専門的な医療を継続的かつ安定的に提供します。また、市内出生数は減少傾向ですが、ハイリスク妊娠は増加しているため、通常分娩についても積極的に受け入れます。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①近隣の周産期医療機関との協力体制の強化
- ②周産期・小児医療サービスの向上
- ③周産期メンタルヘルスケアの充実

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
周産期救急搬送患者受入件数	目標値			90件	100件	110件	120件	130件以上
	実績値	115件	83件	86件	97件	100件	77件	49件
	評価			3	3	4	5	5
NICU及びGCUにおける新規入院患者数	目標値			310人	316人	322人	327人	332人以上
	実績値	314人	305人	255人	265人	302人	282人	192人
	評価			5	5	4	5	5
分娩件数	目標値			1,065件	1,065件	1,065件	1,065件	1,065件以上
	実績値	1,065件	1,030件	1,050件	974件	897件	923件	737件
	評価			3	4	5	5	5



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・周産期救急患者受入数は、目標には至りませんでした。周産期医療に携わる医師を安定的に確保できた結果、産科の周産期救急患者の応需率は88%（昨年度65%）に上昇し、地域の周産期救急ニーズに応えました。今後も近隣周産期医療施設との連携を維持する方針です。 ・NICU及びGCUにおける新規入院患者数は減少しました。今後分娩件数の大きな増加が見込まれないことが課題です。 ・周産期メンタルヘルスケアの充実について、全ての妊婦に外来、退院前、産後1か月健診の3回のスクリーニングを行い、出産後の母親が産後うつ傾向にある場合は、助産師が積極的に連絡を取って病状を確認し、必要に応じて産後2週間以内に外来を受診するよう案内しています。また、ケアマネージャーや専門機関へ情報共有するなど、関係機関との連携も積極的に行っています。 	<p>E 目標を大きく下回った</p>

取組進捗状況管理シート

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●周産期医療に携わる医師の安定的な確保	目標値	※産科・婦人科・新生児科・小児科		26名	26名	26名	26名	26名
	実績値	26名	25名	24名	26名	26名	26名	28名
●新生児集中治療管理室NICUの効率的な運用【病床利用率】	目標値	<平成26年度>	<平成27年度>	94.2%	94.2%	94.2%	94.2%	94.2%
	実績値	94.2%	94.1%	87.8%	92.5%	90.4%	95.7%	83.6%
●新生児治療回復室GCUの効率的な運用【病床利用率】	目標値	<平成26年度>	<平成27年度>	40.0%	40.5%	41.3%	42.0%	42.7%
	実績値	39.5%	38.6%	30.6%	39.8%	33.0%	37.7%	22.3%

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

② 内視鏡検査・治療の充実

〔計画記載ページ P.27〕

診療科間の更なる連携等により実施体制の強化を進め、高齢化の進展とともに増加する内視鏡検査及び内視鏡治療に対する医療ニーズに応えます。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ① 地域医療機関からの検査依頼受入れの拡充
- ② 内視鏡検査異常所見を認めた患者への適切な処置及び経過観察
- ③ 膵・肝胆内視鏡検査の正確な診断と適切な治療の実施

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内視鏡検査件数	目標値			8,020件	8,040件	8,060件	8,080件	8,100件以上
	実績値	8,028件	8,190件	7,990件	8,264件	8,491件	8,113件	6,944件
	評価			3	3	2	3	5
内視鏡治療件数	目標値			1,030件	1,050件	1,070件	1,090件	1,110件以上
	実績値	1,010件	1,012件	1,065件	1,103件	1,220件	1,251件	1,075件
	評価			3	3	2	1	3

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性

令和2年度の達成度

・内視鏡検査件数については、新型コロナウイルス感染症の影響で今年度前半に大幅に減少し、今年度後半も緊急事態宣言の再発令があったため、最終的に大きく目標値を下回りました。しかし、内視鏡治療の実施件数については、今年度後半に徐々に回復し、ほぼ目標値近くまで戻しました。

・胃がん検診の制度が変わり、令和2年度から大幅に検診件数の減少が予想されたため、内視鏡検査の必要性を地域に啓発していく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、クリニック訪問を控えることになり、効果的な啓発活動ができませんでした。今後は、内視鏡センターのホームページのさらなる充実を図り、啓発に努めていきます。

D
目標を下
回った

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●夜間・休日における緊急内視鏡検査実施体制の確保	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値		実施	実施	実施	実施	実施	実施
●検査・治療機器の計画的な更新 (内視鏡機器関連)	目標値			実施	実施・運用	実施・運用	実施・運用	実施・運用
	実績値		実施	実施	実施	実施	実施	実施

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

③ チーム医療の推進

[計画 記載ページ P.27]

総合病院として合併症を抱えた患者にも安心して治療を受けていただけるよう、また、入院や外来通院中の患者の生活の質(QOL)の維持・向上が図られるよう、複数の医療専門職が連携して治療やケアにあたるチーム医療を推進します。チーム医療を支える看護師、薬剤師、栄養士、臨床工学技士などの専門資格取得を支援します。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ① 栄養サポートチームによる効率的な栄養管理の実施
- ② 栄養サポートチーム専任者育成のための認定研修会への参加推進
- ③ 病院職員を対象としたNST研修会の実施
- ④ 呼吸サポートチーム、認知症ケアチーム、褥瘡対策チームによる回診、カンファレンスの実施
- ⑤ 緩和ケア提供のための継続的な体制整備及び患者総合サポートセンターとの連携強化
- ⑥ 病棟薬剤師の配置病棟の拡充

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
栄養サポート チーム回診 延べ患者数	目標値			1,700人	1,700	1,700人	1,700人	1,700人以上
	修正目標値					1,800人	1,800人	1,800人以上
	実績値	2,284人	1,667人	1,809人	2,073人	2,064人	1,780人	1,661人
	評価			2	1	1	3	4
緩和ケアチーム による症状緩和 実施患者数	目標値			250人	250人	250人	250人	250人以上
	実績値	240人	193人	105人	139人	203人	173人	116人
	評価			5	5	5	5	5



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養サポートチーム回診は新型コロナウイルス感染症の影響で入院患者が減少したため、前年度より患者数が減少しました。10月より栄養サポートチームと摂食嚥下支援チームに分け、問題点を明確化し、効率的な栄養管理を行っています。今後は専任者研修への職員の参加を推進し、スタッフ育成にも努めていきます。 ・ NST研修会について、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・言語聴覚士が交代で講師を担当し、今年度は3回開催しました。今後も研修会の開催を通じて職員の知識の醸成を図っていきます。 ・ 呼吸サポートチームについては、呼吸器設定等の適切な指導、管理を行うため毎週回診を行いました。今後も活動を通じて、早期抜管、早期退院に貢献していきます。 ・ 褥瘡対策チームについては、医師、褥瘡専従看護師で毎週回診を行い、褥瘡患者のケア、介護者への指導、情報提供を行いました。また、新設された褥瘡ハイリスク患者ケア加算の届出を新たに行い、869件の評価を実施しました。 ・ 認知症ケアチームについて、もの忘れ外来の開設に向けて、院内の多職種の職員と連携・調整しました。また、認知症疾患医療センター設立に向けて、院内及び健康福祉局の担当部署と連携・調整を行いました。 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で緩和ケアを必要とする入院患者が減少したことにより、緩和ケアチームによる症状緩和実施患者数は昨年度より減少しました。患者に対しては多職種による週1回の病棟ラウンドに加え、専従看護師による病棟及びベッドサイド訪問を毎日実施しています。今後も緩和ケアチームスタッフの育成を継続し、緩和ケアの質の向上に努めていきます。 ・ 病棟薬剤師の配置については昨年より1人増え、3病棟に配置しています。また、救命救 	<p>E 目標を大きく下回った</p>

取組進捗状況管理シート

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●栄養サポートチームによる栄養管理の実施【回診回数】	目標値			100回	100回	100回	100回	100回
	実績値	150回	100回	98回	100回	101回	99回	97回
●緩和ケアチームによるがん患者疼痛緩和の実施【実施延べ患者数】	目標値			250人	250人	2,500人	2,500人	2,500人
	実績値	240人	193人	1,272人	1,800人	2,320人	2,470人	1,409人
●緩和ケアチームによるがん患者疼痛緩和の実施【回診回数】	目標値			48回	48回	48回	48回	48回
	実績値	48回	48回	160回	260回	260回	260回	260回
●呼吸サポートチームによる呼吸管理の実施【回診回数】	目標値			40回	40回	40回	40回	40回
	実績値	40回	45回	46回	46回	43回	42回	46回
●褥瘡対策チームによる褥瘡(床ずれ)の防止等【回診回数】	目標値			44回	44回	44回	44回	44回
	実績値	44回	45回	47回	46回	54回	43回	47回
●専門資格の取得支援【認定看護師】	目標値	※2病院合計		実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	2名派遣	3名派遣	2名派遣	2名派遣	2名派遣	2名派遣	派遣なし

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進

① 地域医療連携の推進

〔計画記載ページ P.27〕

地域における医療機能の分化に伴い、基幹病院として求められる高度・特殊な医療を確実かつ効率的に提供していくため「かかりつけ医制度」を推進し、地域医療機関との患者の紹介・逆紹介を進めます。また、検査機器の共同利用など、地域医療を担うかかりつけ医等を支援しながら、「地域医療支援病院」の承認を目指します。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①地域医療支援病院の継続
- ②地域医療連携の会の開催
- ③紹介元医療機関への返書等による情報交換の推進
- ④病院・診療所等訪問の実施
- ⑤PET-CT等検査機器の共同利用促進

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		地域医療支援病院の承認			承認	継続	継続	継続
	目標値			承認	継続	継続	継続	継続
	実績値	—	承認	継続	継続	継続	継続	継続
	評価			3	3	3	3	3
紹介率	目標値			50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%以上
	実績値	53.7%	61.7%	60.9%	66.0%	68.7%	71.3%	71.7%
	評価			1	1	1	1	1
逆紹介率	目標値			70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%以上
	実績値	72.3%	78.8%	79.6%	84.6%	79.8%	92.5%	113.4%
	評価			1	1	1	1	1
検査機器の共同利用件数	目標値			420件	440件	460件	480件	500件以上
	実績値	412件	458件	434件	411件	637件	817件	876件
	評価			3	4	1	1	1



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「地域医療連携の会」を10月にZoomによるオンラインで開催し、当院の取組状況等について情報発信を行い、地域の医療機関等との連携強化に繋がりました。 ・返信の実施状況を委員会等で確認し、返信を含めた情報交換の推進を図りました。 ・医療機関を訪問は延べ146件行いました。川崎市内だけでなく、大田区、鶴見区の訪問も強化し、両地域で新たに連携登録医療機関が40機関以上増加するなど、地域との連携強化に努めました。 ・検査機器の共同利用については特にPET-CTの利用促進のため、近隣の医療機関へ訪問し説明を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、積極的な活動はできませんでしたが、今後も利用推進に向けて医療機関への訪問等、取組を行ってまいります。 	<p>A 目標を大きく上回って達成</p>

取組進捗状況管理シート

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●病院の初診に係る 保険外併用療養費 の見直し検討	目標値			改定(引上げ)	維持	維持	維持	維持
	実績値		準備	改定(引上げ)	維持	維持	維持	維持
病院の再診に係る 保険外併用療養費 の新設	目標値			新設	維持	維持	維持	維持
	実績値			新設(10/1)	維持	維持	維持	維持
●WEB検査予約シ ステムの導入	目標値			導入	維持	維持	維持	維持
	実績値		準備	導入	維持	維持	維持	維持
●地域連携クリニカ ルバスの積極的な 活用【適用数】	目標値			75件	75件	75件	75件	75件
	実績値	70件	69件	61件	53件	56件	69件	69件
開業医訪問数	目標値			80件	80件	80件	80件	80件
	実績値	6件	13件	42件	54件	103件	212件	146件

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進

② 地域包括ケアシステムの推進

〔計画記載ページ P.28〕

地域包括ケアシステムによる医療・看護・介護・福祉サービス等が適切に提供されるよう、患者の同意を得た上で、地域で活動する医療・介護従事者等との患者情報の共有を進めるとともに、病院・関係機関相互に医療又は介護の知識を深められるよう、勉強会・症例検討会を開催します。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①「地域ケア懇談会」の実施
- ②地域の医療従事者を対象とした症例検討会や勉強会の開催
- ③多職種協働による地域連携の推進
- ④退院時共同会議、介護支援連携会議の促進
- ⑤地域の看護、介護従事者を対象とした研修会等の開催

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
地域ケア懇談会 開催数	目標値			2回	2回	2回	2回	2回
	実績値	—	2回	2回	2回	2回	2回	2回
	評価			3	3	3	3	3
勉強会・症例検討会等への地域の医療・介護従事者等参加延数	目標値			210人	220人	230人	240人	250人以上
	修正目標値					880人	890人	900人以上
	実績値	188人	442人	499人	870人	1,125人	670人	459人
	評価			1	1	1	5	5



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア懇談会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から令和2年度よりZoomによるWeb開催としました。今後はWeb開催が主流になると考えられますが、地域との連携をいかに効率的に行うかが課題です。 ・地域の医療従事者、看護、介護従事者への症例検討会や研修会、勉強会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催について再検討し、オンライン方式を活用するなどして開催に努めました。令和3年度もオンラインによる勉強会、症例検討会が増えていくと見込まれており、新たな環境に適応した形で、地域の医療機関等との連携強化を図っていきます。 ・退院時共同会議、介護支援連携会議については、多職種参加を図り、今年度も積極的に開催するよう努めましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンライン方式での開催や電話等により情報共有を行い、退院支援を実施しました。 	<p>D 目標を下 回った</p>

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●地域ケア懇談会の定期開催	目標値			試行	定期開催	定期開催	定期開催	定期開催
	実績値		10月・1月	10月・1月	8月・3月	7月・2月	7月・2月	1月・3月
●地域の医療・介護従事者等との勉強会・症例検討会の開催	目標値		※開催数	21回	22回	23回	24回	25回
	実績値	20回	32回	27回	24回	30回	16回	11回

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(5) その他医療提供体制の強化

① 精神科救急医療の強化

〔計画 記載ページ P.28〕

精神科救急医療基幹病院としての精神科救急患者（措置入院や医療保護入院など）の受入れ、更には精神科病床を有する総合病院としての精神疾患を有する身体合併症患者の受入れをより円滑に行うため、受入体制の強化を進めます。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ① 県精神科救急体制に対応するための県応需病床2床の円滑な運営
- ② 救急応需に必要な精神保健指定医の確保、精神保健福祉士の維持
- ③ 総合病院精神科の役割として精神疾患を有する身体合併症患者の受入れの実施（病病連携、病診連携、院内他科連携）

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
精神科救急患者受入数（三次及び二次のみ）	目標値			27人	27人	28人	28人	29人以上
	実績値	26人	33人	27人	22人	25人	17人	28人
	評価			3	5	5	5	3
精神科救急応需病床（2床）における平均在院日数	目標値			17.0日	17.0日	17.0日	17.0日	17.0日以下
	実績値	16.8日	14.1日	21.9日	18.0日	20.4日	20.7日	19.6日
	評価			5	4	5	5	5



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> 精神科救急患者受入数については、4縣市協調体制の精神科救急システムを経由した入院であるため、当院のみでコントロールができるものではありませんが、前年より11人増加し、目標値をほぼ達成しました。 今後も患者の受入れが円滑にできるよう運用を続け、病病連携の促進、県精神科救急体制との調整等を進めていきます。 精神科救急応需病床における平均在院日数は、精神疾患を有する身体合併症、発達障害、知的障害、認知症等患者の後方移送が進んだことなどから、令和元年度と比較して約1日減少しましたが、目標は達成できませんでした。 神奈川県精神科救急医療システムの中で、基幹病院としての役割を果たすため、医療人材の安定的な確保等に取り組み、精神疾患を有する身体合併症患者の受入れを実施しています。 今後も、救急体制が円滑に構築できるよう、県及び他政令指定都市への協力を継続していきます。 	<p>D 目標を下 回った</p>

取組進捗状況管理シート

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●精神科医師の安定的な確保 【精神科医師数】	目標値			6名	6名	6名	6名	6名
	実績値	8名	6名	8名	7名	6名	7名	7名
●精神科医師の安定的な確保 【精神保健指定医数】	目標値			3名	3名	3名	3名	3名
	実績値	3名	4名	3名	3名	3名	3名	4名
●精神保健福祉士の確保・増員	目標値	※定数は2名		2名	2名	2名	2名	2名
	実績値	1名	1名	2名	2名	3名	3名	3名
●関係局検討会への参加	目標値			参加	参加	参加	参加	参加
	実績値	参加	参加	参加	参加	参加	参加	参加

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(5) その他医療提供体制の強化

② 感染症医療の確保

[計画記載ページ P.29]

感染症病床を有する市内唯一の第二種感染症指定医療機関として、受入体制を維持・強化し、新型コロナウイルスや中東呼吸器症候群(MERS)をはじめとする二類感染症患者の受入れを行います。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①川崎市新型コロナウイルス等対策検討委員会への参加による診療体制確保及び周辺医療機関との役割分担の確認
- ②検疫所との合同患者受入訓練実施による対応方法強化、個人防護具の着脱訓練、及び感染対策や管理に従事する職員の育成

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
保健所からの要請に基づく二類感染症患者入院要請応需率 (結核患者を除く)	目標値			100%	100%	100%	100%	100%
	実績値	—	要請なし	要請なし	要請なし	要請なし	100%	100%
	評価			3	3	3	3	3



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> 今後発生する可能性のある新型コロナウイルスに対応するため、川崎市新型コロナウイルス等対策検討委員会に参加しました。 神奈川県・空港検疫所・川崎市からの新型コロナウイルス感染症陽性者の入院受け入れ要請に積極的に対応し、陽性者313名、疑い患者78名、合計391名の患者の受け入れを行いました。 市内療養型施設での新型コロナウイルス感染症対策指導を12件実施しました。 クラスターが発生した医療機関・介護施設等に対して、川崎市保健所とともに介入・指導を実施しました。 検疫所との合同患者受入訓練は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で実施できませんでした。また、個人防護服着脱の訓練については各診療科で実施し、感染対策や管理に従事する職員に対して職場OJTなどによる研修を行いました。 	<p>A 目標を大きく上回って達成</p>

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●感染症を専門とする医師の安定的な確保	目標値			2名	2名	2名	2名	2名
	実績値	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名
●受入体制の強化に向けた施設改修の検討	目標値			検討開始	検討終了			
	実績値			検討	検討終了			

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(5) その他医療提供体制の強化

③ リハビリテーション機能の強化

〔計画 記載ページ P.29〕

早期退院及び在宅復帰に向け、リハビリテーション実施体制の充実を図り、高齢化に伴い増加するリハビリテーション需要に対応します。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①新規採用職員の育成
- ②病棟との連携強化
- ③病棟でのリハビリテーションの拡充
- ④早期離床の推進

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		自宅等に退院した患者の割合 (一般病床)			95.4%	95.4%	95.4%	95.4%
	実績値	95.4%	95.1%	95.4%	95.6%	94.9%	95.2%	93.3%
	評価			3	3	3	3	3
リハビリテーション実施単位数	目標値			67,000単位	67,000単位	67,000単位	67,000単位	67,000単位以上
	修正目標値					81,000単位	89,000単位	89,000単位以上
	実績値	61,216単位	59,568単位	56,210単位	72,912単位	78,135単位	73,466単位	101,132単位
	評価			5	2	3	5	1



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション実施単位数は、新規採用職員の適正な育成、院内での連携強化に取り組んだ結果、目標値を大きく上回って達成しました。 ・令和2年度から新人職員教育マニュアルを作成し運用を開始しました、新人職員には先輩職員2名を指導担当をつけて臨床的思考、技術の養成を行いました。 ・早期離床の推進について、ICUや新型コロナウイルス感染症患者受入病棟を中心に行い、一般病床に転床後も継続してリハビリテーションが受けれるよう、実施体制の拡充を行いました。 ・「川崎病院医療機能再編整備基本計画」(平成30年3月)に基づき、新規採用職員の育成、院内での連携強化、病棟リハビリテーション医療等を積極的に推進していきます。 	<p>B 目標を上 回って達成</p>

取組進捗状況管理シート

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●リハビリテーション科職員の確保・充実 【配置数】	目標値	※常勤数、臨時職員数		13名	13名	13名	13名	13名
	実績値	11名、4名	12名、4名	11名、2名	15名、3名	15名、4名	21名、4名	27名、4名
●リハビリテーション科職員の確保・充実 【理学療法士 配置数】	目標値	※常勤数、臨時職員数		実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	6名、2名	7名、2名	6名、1名	9名、1名	9名、2名	13名、4名	17名、2名
●リハビリテーション科職員の確保・充実 【作業療法士 配置数】	目標値	※常勤数、臨時職員数		実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	3名、2名	3名、2名	3名、1名	4名、1名	4名、1名	5名、1名	7名、1名
●リハビリテーション科職員の確保・充実 【言語聴覚士 配置数】	目標値	※常勤数、臨時職員数		実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	2名、0名	2名、0名	2名、0名	2名、1名	2名、1名	3名、1名	3名、1名

取組課題1 医療機能の充実・強化

取組項目(5) その他医療提供体制の強化

④ 医療機能再編整備の推進

[計画 記載ページ P.29]

市内における人口増加と高齢化の更なる進展に伴い、今後、増加が見込まれる救急搬送等の医療需要に対応するため、未利用病床の活用等も含めた医療機能の強化・拡充など、医療機能再編整備に向けた検討を進めます。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①機能再編推進委員会を適宜開催
- ②エネルギーサービス事業により、エネルギー棟・給水ポンプ棟増築の設計完了、工事着手
- ③救命救急センター棟増築・既存棟改修の設計の実施

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		目標値			—	—	—	—
実績値			—	—	—	—		
評価								



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・「川崎病院医療機能再編整備基本計画」（平成30年3月）に基づき、適切に事業を実施するため必要な課題の整理等を行い、各設計の作成に取り組みました。また検討等に当たっては、機能再編推進委員会を5、7、9、12、3月に開催し、改修対象診療科等にヒアリングを実施するなど、院内の意見集約等を行いました。今後も引き続き機能再編推進委員会を開催し、情報の共有及び課題の整理検討について進めていきます。 ・エネルギーサービス事業については、基本・実施設計を行い、令和3年2月に工事に着手しました。今後は給水ポンプ棟の建設工事に着手していきます。 ・救命救急センター棟増築については基本設計に着手し、既存棟改修についても実施設計に着手しました。今後は工事に向けて、引き続き設計を進めていきます。 	<p>C ほぼ目標ど おり</p>

※本取組項目の達成度の評価については、成果指標の設定はありませんが、<取組内容>及び<具体的な取組>の状況を勘案して評価しています。

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●院内検討会の設置 ・開催	目標値		※〇数字は開催数	開催	開催	開催	開催	開催
	実績値		設置・開催②	開催⑫	開催⑫	開催⑥	開催⑤	開催⑤
●医療機能再編に係る 基本構想・基本計画の策定	目標値			基本構想策定	基本計画策定			
	実績値		準備	基本構想策定	基本計画策定			

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

① 医療従事者の確保

〔計画 記載ページ P.30〕

質の高い医療・看護を安定的に提供していくために、優秀な医療人材の安定確保に努めます。また、新たに医療事務職を採用し、精度の高い診療報酬請求事務等の維持・向上に努めます。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

質の高い医療・看護を安定的に提供していくため優秀な医療人材の安定確保を図る。

- ①採用選考の適切な実施による、優秀な臨床研修医の確保
 ②看護師確保のための学校訪問、インターンシップ及び見学会、助産師・看護師・その他医療技術職の学生実習の受入等の実施

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
職場に対する総合的な職員満足度 (職員満足度調査)	目標値			38.0%	39.5%	41.0%	43.5%	45.0%以上
	実績値	—	36.8%	30.6%	28.8%	31.2%	31.3%	32.1%
	評価			5	5	5	5	5
レセプト査定率	目標値			0.44%	0.43%	0.42%	0.41%	0.40%
	実績値	0.45%	0.33%	0.41%	0.38%	0.37%	0.33%	0.30%
	評価			2	1	1	1	1

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい勤務環境の中でも、総合的な職員満足度は前年度と比較してわずかに改善しましたが、目標値を達成できませんでした。職種別では医師の満足度が昨年度と比較して17%上昇していますが医療技術職は8%下落しました。例年満足度が低い看護職は0.7%の微増でした。 レセプト査定率は、医療事務職による診療報酬請求事務の管理のもと、適切なレセプト点検を実施し、目標値を達成しました。今後も、精度の高いレセプト点検を継続し、査定率の向上に努めていきます。 採用選考の適切な実施による、優秀な研修医の確保について、臨床研修医の採用選考には73件に申し込みがあり、申込件数は昨年度と比較して20件増加しました。 大学医局等との連携により、常勤医師の採用や実習の受入れ等を適切に行いました。 看護師確保のための学校訪問やインターンシップ、学生実習の受入等については新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で中止しましたが、病院見学会は感染対策を万全に行い、引き続き実施しました。 医療事務職については、前年度と比較して1名増員し4名在籍しています。 	C ほぼ目標ど おり

取組進捗状況管理シート

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●柔軟な職員採用 選考の実施 【助産師・看護師】	目標値	※()内は地方開催再掲		4回	4回	4回	4回	4回
	実績値	6回(1回)	4回(1回)	5回(1回)	6回(1回)	5回(0回)	6回(0回)	2回(0回)
●柔軟な職員採用 選考の実施 【診療放射線技師】	目標値			適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
	実績値	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
●柔軟な職員採用 選考の実施 【リハビリ3職種】	目標値	※PT(理学)、OT(作業)、ST(言語)		適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
	実績値	1回(理学)	1回(作業)	1回(理学、言語)	1回(理学)	0回	2回(理学・作業・言語)	1回(理学)
●柔軟な職員採用 選考の実施 【臨床工学技士】	目標値			適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
	実績値	1回	1回	1回	0回	0回	0回	0回
●柔軟な職員採用 選考の実施 【その他の職種】	目標値	※医療事務職		適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
	実績値		1回(医事)	2回(視能・医事)	1回(医事)	2回(検査・歯科)	1回(医事)	0回
●医療事務職の配置	目標値			継続	継続	継続	継続	継続
	実績値	計画	1名	2名	4名	3名	4名	4名

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

② 職員の専門能力の向上

〔計画記載ページ P.30〕

人材育成計画に基づき、医療に関わる高度な知識と経営感覚を兼ね備えた職員の育成を進めます。また、臨床研修指定病院として、将来の医療を担う初期臨床研修医の指導・育成を行います。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①在職医師への臨床研修指導医講習会受講の推進
- ②地域包括ケアシステムに参画できる認定看護師の育成
- ③各種医療技術職員向け研修受講の推進・支援
- ④看護師の特定行為研修の受講による専門的な知識及び技能の向上

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
職場が「人材育成や能力開発に積極的である」と思う職員の割合 〔職員満足度調査〕	目標値			54.0%	55.5%	57.0%	58.5%	60.0%以上
	実績値	—	52.3%	48.8%	47.9%	44.1%	48.6%	48.9%
	評価			4	5	5	5	5
認定看護師の人数 ※()内は井田病院との合計	目標値			24(41)名	24(42)名	25(43)名	26(45)名	27(47)名
	実績値	—	23(40)名	28(43)名	28(46)名	31(47)名	33(49)名	31(50)名
	評価			1	1	1	1	1
研修医1人あたりの指導医数	目標値			3.0名	3.1名	3.1名	3.2名	3.2名
	実績値	—	3.0名	3.1名	2.9名	3.1名	3.3名	3.2名
	評価			3	3	3	3	3

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・臨床研修指導医講習会は、受講料を当院が負担し受講を推進しており、今後も積極的な受講促進を行っていきます。 ・初期臨床研修医10名に対し各科マンツーマン方式での指導体制をとっており、臨床医としての基礎的臨床能力の養成に努めました。 ・今年度は、2名の認定看護師が特定行為研修を受講し、研修終了後に各部署の中で活動を始めました。今後も認定看護師及び特定行為研修の受講を推進していきます。 ・その他の職員についても、院内研修会や看護協会、各種学会等が開催する研修会へ参加し、専門職としての能力の向上に努めました。 ・今後も医療のニーズに合わせた専門的知識や技術を持った看護師を育成するとともに、質の高い看護の提供に努めていきます。 	<p>C ほぼ目標ど おり</p>

取組進捗状況管理シート

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●人材育成計画の 策定・更新	目標値			更新	更新	更新	更新	更新
	実績値	作成	更新	更新	更新	更新	更新	更新
●臨床研修指導医 講習会受講の推 進【受講者数】	目標値			10名	10名	10名	10名	10名
	実績値	11名	8名	7名	10名	2名	0名	0名
●認定看護師の計 画的な育成・支 援	目標値			2名派遣	2名派遣	2名派遣	2名派遣	2名派遣
	実績値	2名派遣	2名派遣	2名派遣	2名派遣	2名派遣	2名派遣	派遣なし
●新専門医制度へ の対応	目標値			準備	準備	実施	実施	実施
	実績値	準備	準備	準備	準備	実施	実施	実施

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(1) 人材の確保と育成の推進

③ 働きやすい職場づくり

〔計画記載ページ P.31〕

医療従事者の業務負担軽減を図るとともに、診療や看護等に専念でき、十分な生活時間を確保できるよう、補助者の確保を進めるとともに、ワーク・ライフ・バランスに配慮した働きやすい職場環境を整備します。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①働き方改革推進委員会によるワーク・ライフ・バランスを実現する働く環境の整備
- ②医師事務作業補助者拡充による医師等の業務負担の軽減
- ③子育て支援や会計年度任用職員等の活用など、多様な働き方の推進

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
「仕事と私生活のバランスがとれている」と思う職員の割合〔職員満足度調査〕	目標値			37.0%	39.0%	41.0%	43.0%	45.0%以上
	実績値	—	35.3%	34.6%	36.6%	33.7%	37.5%	40.8%
	評価			4	4	5	5	4



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標については医師、医療技術職員、事務職で目標値を達成しました。目標値に届かなかった看護職も昨年度に比べて3.8%上昇しており、徐々にですが数値は改善しています。 ・医師事務作業補助者の募集については、ハローワークやホームページ、院内ポスターで募集情報の掲示等に取り組んだ結果、令和2年度は前年度と比較して2名増員しました。 ・医師事務作業補助者の活用については、定期的な面談の実施や診療科との調整により、適性を見極めた効率的な人員配置を行うなど、医師の業務負担の軽減に取り組みました。 ・今後の医師事務作業補助者配置については、病棟や外来へ拡充していく予定ですが、機能評価係数Ⅰの増収分と人件費を考慮しながら検討していきます。 	<p>D 目標を下 回った</p>

取組進捗状況管理シート

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016－2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●医師事務作業補助者の確保・充実【配置数】	目標値	※4月1日現在		17名	17名	17名	17名	17名
	実績値	なし	21名	30名	17名	25名	31名	33名
●看護補助者の確保・充実【配置数】	目標値	※4月1日現在		35名	35名	35名	35名	35名
	実績値	40名	43名	46名	45名	47名	55名	66名
●子育て支援制度の利用促進【女性の育児休業取得率】	目標値			100%	100%	100%	100%	100%
	実績値	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
●子育て支援制度の利用促進【男性の育児休業取得率】	目標値			12%以上	12%以上	12%以上	12%以上	12%以上
	実績値	0%	0%	0%	0%	0%	0%	18.2%
●子育て支援制度の利用促進【配偶者の出産特別休暇完全取得率】	目標値			70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上
	実績値	53%	35%	29%	38.5%	42.9%	13.3%	81.8%
●子育て支援制度の利用促進【男性の育児参加特別休暇完全取得率】	目標値			30%以上	30%以上	30%以上	30%以上	30%以上
	実績値	33%	6%	14%	7.7%	42.9%	6.7%	72.7%
有給休暇の取得促進【年次有給休暇平均習得日数】	目標値			16日以上	16日以上	16日以上	16日以上	16日以上
	実績値	9.1日	9.0日	9.8日	10.1日	10.0日	10.2日	12.4日
有給休暇の取得促進【夏季休暇平均取得日数】	目標値			4.6日以上	4.7日以上	4.8日以上	4.9日以上	5.0日
	実績値	4.5日	4.5日	4.4日	4.4日	4.4日	4.4日	4.5日
看護職員離職率	目標値			9.4%以下	9.4%以下	9.4%以下	9.4%以下	9.4%以下
	実績値	9.4%	8.7%	7.3%	7.3%	8.5%	7.4%	8.8%

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(2) 医療安全の確保・向上

○ 医療安全・院内感染対策の推進

[計画 記載ページ P.31]

医療事故の原因究明や再発防止に積極的に取り組むとともに、院内感染対策を徹底し、質の高い安全で安心な医療を提供します。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①インシデントレポートおよび定期的な院内巡回により、各部門の医療安全管理の状況を把握、分析
- ②医療安全確保のために必要な業務改善等の具体的な対策を推進
- ③医療安全対策に係る職員研修を企画・実施
- ④院内感染対策への取組みとして、サーベイランスの実施、アウトブレイクの早期発見、ICT介入による早期終息
- ⑤感染対策部会のリンクスタッフらによる手指衛生の向上に向けた取組の推進
- ⑥院内感染対策講習会として、全職員向けに複数回の研修会を開催

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
体制の確保 (「医療安全対策加算1」及び「感染防止対策加算1」に係る診療報酬施設基準の届出)	目標値			届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)
	実績値	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)	届出(継続)
	評価			3	3	3	3	3



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策への取組として、血液感染・尿路感染・手術部位感染・血液曝露・耐性菌サーベイランスを実施しました。 ・院内感染対策講習会は新型コロナウイルス感染症対策として集合研修は行わず、電子カルテを利用したeラーニングを実施しました。テーマは7個設定し、各職員はその中から2テーマを選択して学習する形式とした結果、研修への参加率は昨年度の63.3%から20.1%増加し、83.4%となりました。 ・手指衛生の向上のため、速乾性手指消毒薬を部門ごとにポシエット管理に変更を行いました。今後、全ての部門で導入していく予定です。 ・院内の安全ラウンドを実施し、各部署が主体的にインシデントの分析と対策に取り組めるよう支援しました。 ・医療事故防止の推進のためにインシデント・アクシデント事例を4半期ごとに収集・分析し、委員会や部会を通じて再発防止策を検討しました。 ・医療安全管理に係る職員研修については、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策と両立させながら実施し、全職員の約7割が受講しました。感染防止と教育効果の観点から、職場単位で実施する研修を企画し、研修受講率の向上に取り組みました。 	<p>C ほぼ目標ど おり</p>

取組進捗状況管理シート

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●医療安全の推進及び医療事故の防止	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
●医療安全対策に係る研修を受けた看護師等の配置	目標値			配置	配置	配置	配置	配置
	実績値	配置	配置	配置	配置	配置	配置	配置
●感染対策に係る十分な経験を有する医師・看護師等の配置	目標値			2名	2名	2名	2名	2名
	実績値	2名	2名	2名	2名	2名	2名	2名
●感染制御チームによる活動の推進【ラウンド回数】	目標値			46回	49回	49回	49回	49回
	実績値	37回	46回	46回	49回	49回	46回	49回

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

取組項目(3) 患者に優しい病院づくり

○ 積極的な情報発信と相談体制の強化

〔計画 記載ページ P.32〕

患者本位の分かりやすい医療の提供に努めるとともに、病院の医療機能や患者が必要とする情報の積極的な発信、相談部門の強化など、利用しやすい病院づくりを進めます。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①Wi-Fi設備の追加整備
- ②訪日外国人旅行者受入れ医療機関としての施設の整備
- ③外来モニターによるコンテンツの充実及び患者サービスの向上
- ④ホームページやデジタルサイネージによる患者への情報発信
- ⑤がん相談支援センターによる相談・情報提供体制の強化・推進
- ⑥入院センターの開設による入院前からの患者支援体制の強化

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入院患者満足度	目標値			87.0%	87.5%	88.0%	88.5%	89.3%以上
	実績値	—	86.5%	86.4%	85.4%	86.6%	90.1%	88.4%
	評価			3	3	3	3	3
外来患者満足度	目標値			76.0%	77.4%	78.8%	80.2%	81.7%以上
	実績値	—	74.6%	69.3%	68.2%	76.2%	68.0%	69.3%
	評価			4	5	3	5	5



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性

令和2年度の達成度

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的とした面会制限への対応として、必要な病棟にWi-Fi整備を行う予定でしたが、工事業者との調整がつかず、整備はできませんでした。令和3年度は感染症病棟や救命救急センター病棟、産科病棟へ整備の予定です。
- ・電話医療通訳サービスの継続的な提供や双方向通訳デバイス（ポケットーク）の追加導入するなど、外国人対応医療機関として環境整備を進めました。
- ・国立がん研究センター発行の部位別のがんに関するパンフレット等を配架するなど、患者さんへの適切な情報提供に努めました。
- ・リハビリテーション科によるフレイル予防の動画を作成しデジタルサイネージに掲載しました。
- ・入院患者満足度については課題である「快適性」の向上のため、改修工事やレイアウト変更により清潔かつ快適にシャワー室を使用できるよう改善しました。また、清掃業者への適切な指導として清掃の頻度や巡回点検を強化し、清潔維持に努めました。
- ・外来患者満足度については、外来患者を地域の医療機関へ紹介することで外来患者が減少し、課題である外来待ち時間は少しずつ減少傾向にあります。また待ち時間を長く感じさせないための対策としてスマートフォンアプリを、令和2年度は全診療科に拡大しました。今後、総合案内に看護職員を配置し、来院者の案内や誘導を行いホスピタリティの向上を目指します。

D
目標を下
回った

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

	<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●クリニカル・インジケータ(臨床指標)の公表	目標値		準備	準備	準備	準備	実施
	実績値		準備	準備	準備	準備	実施
●病院ホームページのリニューアルと内容の充実	目標値		準備	実施	実施	実施	実施
	実績値		準備	実施	実施	実施	実施
●病院モニター会議の開催	目標値		2回	2回	2回	2回	2回
	実績値	2回	1回	2回	2回	2回	1回
●がん相談支援センター(がん相談専門員)の設置	目標値		設置・運用	運用	運用	運用	運用
	実績値		設置	運用	運用	運用	運用
●市民公開講座の充実	目標値		6回	6回	6回	6回	6回
	実績値	2回	2回	6回	6回	6回	3回
院内Wi-Fiの整備	目標値		運用	運用	運用	運用	運用
	実績値		整備・運用	運用	運用	運用	運用
クリニカルパスの積極的な適用	目標値		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	実績値	5,587	5,109	5,084	5,581	5,806	6,021
がん患者相談件数	目標値		200件	300件	300件	300件	300件
	実績値		191件	671件	632件	556件	306件

取組課題3 強い経営体質への転換

取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進

[計画 記載ページ P.32]

医療機能の充実・強化を進めるとともに、限られた人材や病床等の効率的・効果的な活用や、精度の高い診療報酬請求・未収対策の強化等により、診療収入の確保に努めます。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①午前退院・午後入院の促進、診療科を超えた柔軟な病床管理、増大する救急やがん等の医療需要への積極的な対応など、入院患者数の増加、病床稼働率の向上等の取組の推進
- ②未収金対策として、文書催告・電話催告、入退院時面談の実施強化

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		目標値			174.7億円	177.3億円	178.1億円	179.3億円
医業収益の額	実績値	166.2億円	167.6億円	167.0億円	175.7億円	176.5億円	176.1億円	165.7億円
	評価			3	3	3	3	4
	目標値			58,833円	59,652円	59,887円	60,122円	60,358円以上
入院患者1人1日 当たり診療収入 (入院診療単価)	実績値	58,400円	58,564円	61,016円	61,055円	62,979円	64,897円	69,805円
	評価			3	3	2	2	1
	目標値			12,072円	12,289円	12,387円	12,486円	12,586円以上
外来患者1人1日 当たり診療収入 (外来診療単価)	実績値	11,429円	11,867円	12,323円	13,206円	14,085円	15,294円	16,206円
	評価			3	2	1	1	1
	目標値			76.5%	76.5%	76.5%	76.5%	76.5%以上
病床利用率	実績値	73.1%	73.9%	70.5%	74.5%	71.3%	67.4%	65.4%
	評価			4	3	4	5	5



<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・医業収益については昨年度と比較して減少しました。患者1人1日当たりの診療収入が昨年度と比較して増加しているものの、入院患者数及び外来患者数の減少が影響しているものと考えられます。 ・患者1人1日当たりの診療収入については、昨年度と比較して増加しました。特に入院単価が新たな施設基準の取得や、新型コロナウイルス感染症患者への対応等により上昇しました。今後も診療報酬の適正な算定に努めていきます。 ・発生した未収金については原則2週間以内に電話催告、文書催告を行い、3か月間支払いがない場合、弁護士に委託しました。 ・病床利用については看護部及び各診療科が協働して午前退院・午後入院を促進し、効率的な病床運用に努めました。新型コロナウイルス感染症患者の受入れのため一般病床の休床を行い、看護師の確保を行ったため、目標値を達成できませんでした。 ・無菌室の設置に伴い有償個室が減少したため、効率的な病床運用に資する個室の在り方について、今後検討していきます。 	<p>C ほぼ目標ど おり</p>

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●医療機能の充実・強化による診療収益の確保	目標値	※取組課題1参照		実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
●精度の高い診療報酬請求 【レセプト査定率】	目標値			0.44%	0.43%	0.42%	0.41%	0.40%
	実績値	0.45%	0.33%	0.41%	0.38%	0.37%	0.33%	0.30%
●未収金催告・督促の強化 【督促・催告総件数】	目標値			7,500件	7,550件	7,600件	7,650件	7,700件
	実績値		7,196件	7,679件	6,575件	5,766件	5,762件	5,814件

取組課題3 強い経営体質への転換

取組項目(2) 経費節減に向けた取組の推進

〔計画記載ページ P.33〕

委託業者の仕様の精査・見直しによる委託料の縮減、医療材料等のより安価な同等代替品への切り替えや適正な在庫管理などによる経費の節減に努めます。また、業務改善や効率的な業務執行などにより、時間外勤務の縮減を進めます。

<取組内容>

令和2年度の主な取組内容

- ①医療機器の購入にあたり、保守契約を含めた入札実施の検討・促進
- ②医療機器保守契約の見直しによる委託料節減（MEセンターと協力）
- ③コンサルタント業者との連携による、材料費等の支出縮減に向けての取組

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

<成果指標>

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
職員給与費対 医業収益比率	目標値			55.7%	54.2%	53.7%	53.5%	53.6%以下
	実績値	52.4%	54.5%	57.0%	54.3%	53.8%	54.8%	60.9%
	評価			3	3	3	3	5
委託費対 医業収益比率	目標値			13.2%	13.0%	13.0%	12.9%	12.8%以下
	実績値	14.2%	14.7%	14.6%	14.4%	13.9%	14.1%	16.7%
	評価			5	5	4	4	5

<自己評価>

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性	令和2年度の達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤及び診療材料の価格交渉の実績がある業者とアドバイザリー契約を結び、納入価格の引き下げに取り組みました。 ・医療機器の購入においても価格交渉を強化するとともに、保守契約を含めた入札を7件実施しました。今後も経営企画室契約担当と連携しながら対象案件の拡充を進め、委託料の縮減に取り組んでいきます。 ・医療機器の保守契約に係る次年度の予算要求にあたり、MEセンターや院内各所属の協力を得ながら保守内容の見直しを進め、委託料の抑制を図りました。今後も随時見直しを進めていく予定です。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により医業収益が大幅に減少したため、医業収益比率は悪化しましたが、委託料は令和元年度決算額より削減しました。 	E 目標を大きく下回った

取組進捗状況管理シート

<具体的な取組>

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016-2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●委託業務の仕様の精査・見直し	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
●業務効率化による時間外勤務の縮減【時間外勤務手当】	目標値			適正化	適正化	適正化	適正化	適正化
	実績値	9.1億円	9.2億円	8.6億円	6.8億円	6.8億円	6.5億円	5.7億円
●施設・設備の計画的な維持補修と機器更新の実施	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値		計画策定	実施	実施	実施	実施	実施
●光熱水費の縮減に向けた高効率設備機器等への転換	目標値			順次実施	順次実施	順次実施	順次実施	順次実施
	実績値		実施	実施	実施	実施	実施	実施
一般競争入札の推進【指名競争入札案件への適用】	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
医療材料等の共同購入の実施	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
適正な在庫管理【薬剤廃棄】	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施

取組課題3 強い経営体質への転換

取組項目(3) 経営管理体制の強化

〔計画記載ページ P.33〕

病院の経営状況や課題等に係る情報の共有化を徹底し、病院職員の経営意識を醸成します。また、毎年度、各部門ごとに本計画の達成に向けた目標設定を行うとともに、本庁部門と各病院三役等が出席する経営会議を定期的に関催し、その進捗管理を行うなど、経営改革を一層推進します。

＜取組内容＞

令和2年度の主な取組内容

- ①経営会議による本計画の進捗管理の実施
- ②病院幹部会議における病院経営状況等の報告
- ③総合医療情報システムを用いた経営状況の周知
- ④実現可能な施設基準取得への取組

※平成28～令和元年度の目標値は目安として設定

＜成果指標＞		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
「病院の経営に参画したい」と思う職員の割合 (職員満足度調査)	目標値			24.0%	25.5%	27.0%	28.5%	30.0%以上
	実績値	—	21.2%	19.5%	18.1%	16.3%	19.3%	17.8%
	評価			5	5	5	5	5
経営会議開催数	目標値			10回	10回	10回	10回	10回以上
	実績値	11回	10回	10回	12回	12回	12回	12回
	評価			3	1	1	1	1

＜自己評価＞

成果指標などの状況と成果の分析、今後の方向性

令和2年度の達成度

- ・診療科別目標管理制度を実施し、毎月の幹部会議（運営会議）において経営状況を確認しています。引き続き経営意識の醸成を図るとともに、「病院の経営に参画したい」と思う職員の割合の向上に努めます。
- ・施設基準の取得等に係るワーキンググループの活動を定期的に関催し、新たな施設基準取得に向け課題を明確化し、取得可能な施設基準については届出を実施しました。
- ・総合医療情報システムを用いた経営状況の周知について、運営会議で周知した稼働に関する資料を電子カルテに掲載し、全職員がいつでも閲覧できるようにしています。
- ・機能評価係数Ⅰに係る急性期看護補助体制加算看護補助者5割未満から5割以上へ変更し、医師事務作業補助体制加算2から加算1へ変更することで、それぞれ高い基準の加算の届出を行いました。また総合入院体制加算2を6月に取得しました。

C
ほぼ目標ど
おり

取組進捗状況管理シート

＜具体的な取組＞

●は、主な取組として「市立病院中期経営計画2016－2020」に記載されているもの。

		<平成26年度>	<平成27年度>	<平成28年度>	<平成29年度>	<平成30年度>	<令和元年度>	<令和2年度>
●経営会議による本計画の進捗管理の実施	目標値			計画策定前	実施	実施	実施	実施
	実績値			計画策定前	実施	実施	実施	実施
●病院幹部会議における病院経営状況等の報告	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値			実施	実施	実施	実施	実施
●総合医療情報システムを用いた経営状況の周知	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値			実施	実施	実施	実施	実施
中期経営計画勉強会の開催	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値			1回	1回	0回	0回	0回
新任・局間異動者研修会の開催	目標値			実施	実施	実施	実施	実施
	実績値			1回	1回	1回	1回	1回
診療科別目標管理制度の導入	目標値			試行実施	導入	実施	実施	実施
	実績値			試行実施	導入	実施	実施	実施